

2022 年度（令和 4 年度）
 一般社団法人日本小児アレルギー学会事業計画書
 （2022 年 9 月 1 日から 2023 年 8 月 31 日まで）

事業項目	事業概要
学術大会の開催	<p>第 59 回日本小児アレルギー学会学術大会・APAPARI2022 合同開催</p> <p>会期：2022 年 11 月 12 日、13 日</p> <p>会長：大矢幸弘（国立成育医療研究センターアレルギーセンター長）</p> <p>会場：沖縄コンベンションセンター、ラグナガーデンホテル（ハイブリッド開催）</p> <p>参加予定数：2,220 名 一般演題応募数：228 題 APAPARI 演題応募数：99 題</p>
学会誌・ガイドライン、 その他の刊行物の発行	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本小児アレルギー学会誌 第 36 巻 4 号～第 37 巻 3 号 発行形態：オンライン版・ダイジェスト版 通常号年間 4 回および学術大会プログラム・抄録号 1 回（計 5 回） 通常号 12, 翌年 3, 6, 10 月発行、学術大会プログラム・抄録号 9 月 オンライン版は J-stage、メディカルオンラインに掲載 2. 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン（JPGL）改定（2023 年秋刊行予定） 3. 食物アレルギーハンドブック改訂（2023 年秋刊行予定） 4. 小児アトピー性皮膚炎ガイドライン（仮題）作成（2023 年秋刊行予定） 5. 学会紹介パンフレット改訂
研修および教育の実施	<ol style="list-style-type: none"> 1. CReSS メディカルライティングセミナー 日時：2022 年 9 月 11 日（日）9 時 15 分～17 時 45 分（予定） 開催形式：ウェビナー形式 募集人数：100 名 2. 基礎研究支援セミナー(Basic Research Supporting Seminar: BReSS) 日時：2023 年 6 月 24 日（土）13 時 00 分～25 日（日）14 時 00 分（予定） 会場、募集人数等 未定 3. 臨床研究支援セミナー(Clinical Research Supporting Seminar: CReSS) 日時、開催形式、募集人数等 未定 4. 小児アレルギースキルアップコース（PASCO）【2019 年度 GSK 医学教育事業助成による】 <ol style="list-style-type: none"> 1) 全国（卒後 10 年以内の若手医師向け） 日程/開催地：未定（2023 年） 開催形式：未定 内容：若手小児科医のための小児アレルギー分野の実践的教育 募集人数：70 名程度 2) 地方（若手医師および地域医療に携わる小児科医向け） 日程、開催地等、未定 内容：地方の若手小児科医・実地小児科医のための小児アレルギー分野の実践的教育
研究の推進および研究業績の表彰	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究費補助金申請（支援研究）の公募と研究助成金交付 助成金額：130 万円（総額） 内容：小児アレルギー分野の臨床研究を推進し、日本発のエビデンスを創出していくため、会員の行う独創的な観察・調査研究および介入研究を支援する。 2. 協力研究の公募 助成金額：なし 内容：すでに実施中の研究に学会として協力（症例登録の呼びかけなど）。

	<p>3. 優秀論文賞 内容：その年の日本小児アレルギー学会誌に掲載された原著論文の中から原則として2論文に「日本小児アレルギー学会優秀論文賞」を授与することをもって、発表者の研究活動を奨励することを目的とする。</p> <p>4. 学術大会優秀演題賞 内容：選考を希望した一般演題（口演）に対して発表内容を精査し、最優秀演題賞を1名、優秀演題賞を若干名表彰することをもって、発表者の研究活動を奨励することを目的とする。</p>
<p>関連学術・専門団体との連携</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本小児科学会 2. 日本アレルギー学会 3. 日本小児臨床アレルギー学会 4. 日本アレルギー協会 5. 内科系学会社会保険連合 6. 日本栄養士会 7. 日本学校保健会
<p>国際的研究協力と国際交流の推進</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第59回日本小児アレルギー学会における International Pediatric Allergy Symposia (IPAS)の開催 2. Korean Academy of Allergy and Respiratory Diseases (KAPARD:韓国小児アレルギー呼吸器疾患学会)交流事業 3. Asia Pacific Association of Pediatric Allergy, Respiriology & Immunology (APAPARI)の活動への参加 4. World Allergy Organization(WAO)の活動への参加 5. APAPARI およびアジアで開催される国際学会に参加する派遣医師・研究者へのトラベルグラント提供（オンライン開催の場合は参加登録料の補助） 6. EAACI の Winter school、Allergy School on Anaphylaxis への会員派遣、トラベルグラント提供
<p>普及啓発・社会活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. アレルギー疾患対策基本法にもとづくアレルギー疾患医療の推進 2. 第59回日本小児アレルギー学会における市民公開講座開催 3. 学会ウェブサイトでの一般向け情報発信 4. 災害発生時の被災者支援（小児アレルギー疾患分野） 相談窓口の設置・災害対応パンフレット作成 アレルゲン除去食品など支援物資供給体制の支援 5. Minds ガイドラインライブラリにガイドラインの一部を掲載
<p>理事会、代議員総会、委員会・ワーキンググループ</p>	<p>理事会： 定例3回（学術大会開催前日（秋）、日本小児科学会学術集會会期中（4～5月）、8月）他、随時WEB開催</p> <p>定時代議員総会： 学術大会第1日 開催形式 ハイブリッド形式（予定）</p> <p>委員会・ワーキンググループ(WG)： 委員会（17）： 編集委員会／規約委員会／疫学委員会（小児喘息重症度分布経年推移多施設調査2022の実施）／国際交流委員会／社会保険委員会／食物アレルギー委員会／薬務委</p>

	<p>員会／気管支喘息委員会／研究推進委員会／利益相反委員会／倫理委員会／災害対応委員会／将来計画委員会／広報委員会／キャリア支援委員会／学術大会委員会／アトピー性皮膚炎委員会</p> <p>ワーキンググループ (3) :</p> <p>小児アレルギー教育セミナーWG (PASCO) ／アレルギー性鼻炎 WG／システムレビューWG／ジュニア委員会設立準備 WG</p>
代議員・役員選挙の実施	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代議員選挙 2. 理事選挙 3. 理事長選挙